

中経 論壇

日本公認会計士協会東海会
副会長
岩田 礼司



中小企業が抱える課題

請される資料などの作成に携わり、経営者とともに金融機関との対応をすることもある。また、資金アドバイスなどによりコストの削減を通して、効率的な経営をサポートする。

四つ目は、「後継者の不在」が考えられる。後継者が不在のため会社を解散するケースが見られる。自社内で後継者が見つからない場合は、M&Aなどにより企業の継続を図る必要がある。公認会計士は、「管理不足」が考えられる。コスト管理算定などに携わるケースがあるが不十分だと、利益が圧迫され、経営が厳しくなる。製造業の企業が利益を拡大させるには、まず製品製造にかかった原価を正しく計算し、製造原価を正確に把握することが必要である。上記以外にも、中小企業が抱える課題はあるが、公認会計士のサポートを利用することで、財務管理、資金調達、リスク管理、後継者問題など、多岐にわたる課題に対応することができ企業の成長につながる。

東海エリアにおける中小企業数は、約41万社(2021年度 出典：中小企業庁「中小企業白書2024年版」)で、12年度と比較して約7万社減少している。この減少の要因には、さまざまな要因があると思われる。今回は、中小企業が抱える課題について公認会計士の観点から種々の課題について考える。

一つ目は、「財務管理の不十分」が考えられる。中小企業では、財務管理が十分に整備されていないことがよくある。経営者は利益に目が行き

二つ目は、「資金調達の難しさ」が考えられる。中小企業は、大企業と比較して資金調達が難しい。公認会計士は、適切な融資先を紹介することや、金融機関へ提出する事業計画書など、金融機関から要

公認会計士の多様な支援

Sの歌舞
1、毎春
の開幕
は「大
いこ」
を前に
披露し
の公演
情四季
け声を
安神宮
描かれ
演は4
鼓の袖
は人一
を忘れ
いけた

オーブン カレツジ

「硫黄(いおう)」と聞くと、多くの人は比較的にガティブな印象を抱くのではないだろうか? 「臭い」「体に悪そう」「あるいは「爆発しそう」とか。良いイメージとしては、せいぜい「温泉」を連想してもらえれば関の山であろう。これらの印象は、硫黄(正確には硫黄化合物)のある側面のひとつに過ぎないのだが、やや悪目立ちしがちなこともあり、全体として「硫黄は危険」という認識が定着しているように思われる。

しかし、悪臭・毒性・爆

単体硫黄の化学変換

のではない。紙面その詳細については割愛するが、スのニオイ」がであることだけおきたい。都市微量のガス漏れ匂いで感知でき快な匂いを持つ化合物が意図的ているのだ。硫黄ガス爆発を引きではない。

さて、著者は、この物質に注目これは主に八個Sが輪つか状に物質であり、S₈れる。安定な固に無臭(!)で硫黄は、石油精

余剰硫黄を

高価値物質

発性といった要素は、一種の硫黄系物質にみられる特性ではあるものの、すべての硫黄系物質に共通するもの

学部准教授
原 陽平

の副生物である日々大量に生産れており、われシステムが化石の上に成り立つ